

浅野誠

# 我が庭畑

2014 年 1～8 月

私のブログで、カテゴリー別で記事数トップなのは「庭畑」だ。だから、一年分を一冊に収めきれないことが多い。2014 年もそうだ。

このころは、庭畑づくり満 10 年になる。あのころは、台風の襲来が多くて苦労した。でも、庭畑が「形」をなすようになり、畑は果樹へと移っていった時期だった。

海洋博公園の洋蘭博覧会や南城市のオープンガーデンの記事も合わせて掲載した。

2018 年 7 月発刊

## 目次

※ ブログ掲載月日順に配列してある。

我が庭畑の「NHKテレビテキスト『トロピカルプランツ』」 5	8 月 24 日
我が庭畑の「NHKテレビテキスト『トロピカルプランツ』」 4	8 月 21 日
我が庭畑の「NHKテレビテキスト『トロピカルプランツ』」 3	8 月 18 日
我が庭畑の「NHKテレビテキスト『トロピカルプランツ』」 2	8 月 17 日
NHKテレビテキスト「トロピカルプランツ」掲載植物の半分は我が庭畑にあった	8 月 15 日
ナタマメを育てる	8 月 09 日
ドラゴンフルーツ収穫	8 月 09 日
クワンソー収穫 酒に浸ける	8 月 05 日
クールミント バナナミント メキシカンスイートハーブ 我が庭畑のハーブ 2	7 月 29 日
メダカ 池 カダヤシ エンサイ	7 月 27 日
サンダンカ ゲッキツ 月下美人 ライチ	7 月 25 日
コーヒーとカニステルの実 ドラゴンフルーツとサガリバナの開花	7 月 13 日
ようやくドラゴンフルーツの季節	7 月 07 日
らせん型ハーブ園 2 号とステビア	7 月 03 日
我が庭畑近況	6 月 27 日
野菜 ゴーヤ モロヘイヤ ニラ	6 月 22 日
パッションフルーツの本格的収穫	6 月 20 日
木から落ちる物語	6 月 14 日
ライチ（レイシ）の本格的収穫	6 月 11 日
サガリバナ開花	5 月 31 日
クチナシ ハンギングヘリクニア ソテツの花	5 月 25 日
コーヒーの木の開花	5 月 07 日
オレガノ	5 月 05 日
ソテツの新葉	5 月 04 日
ライチ（レイシ）の実がたくさん着く	5 月 03 日
パッションフルーツ満開 人工授粉作業	4 月 28 日
ティートリー満開	4 月 23 日
ティーツリー見ごろ近づく	4 月 14 日
ライチ満開 チシャノキ満開	4 月 11 日
オクラレルカ満開	4 月 08 日
大城正重. 大城雪子. 大城盛安. 照屋安啓. みなみ野クリニックガーデン 南城市オープンガーデン 2	4 月 7 日
花と緑と人が創るハーモニーが心を包みませる川端栄吉ガーデン 南城市オープンガーデン 1	4 月 6 日
新葉 ライチ クロキ ガジマル サボテン	4 月 04 日

ブロッコリー収穫 食べる	3 月 28 日
100%我が畑産の11種野菜サラダ	3 月 23 日
堆肥つくりと有機液体肥料 ブロッコリー	3 月 21 日
新芽吹き出す 柿 キンカン アボガド	3 月 19 日
枇杷の収穫へ マンゴーの実が付き始める シャリンバイ開花 このごろの庭畑	3 月 03 日
柿 クバ サルスベリ バラ アボガド 我が家の樹木最終回	3 月 01 日
ジャボチカバ パパイヤ きんかん シークワサー 我が家の樹木14	2 月 25 日
コーヒーの木 ヒメヒイラギ コデマリ メイフラワー 我が家の樹木13	2 月 21 日
リュウゼツラン まっこう(ハリツルマサノキ) さんだんか ソテツ 我が家の樹木12	2 月 19 日
開花 メイフラワー 金煌マンゴー セイロンベンケイ(2種) ディル	2 月 18 日
やまもも カニステル ピタンガ ホワイトサポテ インドナツメ 我が家の樹木11	2 月 16 日
ステキなランのオンパレード 沖縄国際洋蘭博覧会2	2 月 11 日
ゲッキツ クチナシ ナンテン ユーカリ オキナワウラジロガシ 我が家の樹木10	2 月 10 日
3年連続で沖縄国際洋蘭博覧会を見る 1	2 月 08 日
ミルクブッシュ ジャスミンマツリカ クロトン タイワンレンギョウ ハイビスカス 我が家の樹木9	2 月 05 日
オオバナアリアケカズラ プルメリア フウリンブツソウゲ ユッカ 我が家の樹木8	2 月 02 日
マニラヤシ トックリヤシモドキ サボテン 我が家の樹木7	1 月 29 日
クロキ センネンボク キバナタイワンレンギョウ 我が家の樹木6	1 月 26 日
ライチ(レイシ) バンシルー(グァバ) びわ 我が家の樹木5	1 月 24 日
ブーゲンビリア サガリバナ ティートリー 我が家の樹木4	1 月 20 日
ガジマル チシャノキ 我が家の樹木3	1 月 17 日
マンゴー 樹木2	1 月 13 日
我が家の木々の成長 森へ 樹木シリーズ1	1 月 11 日
私流自然農とコンポストで堆肥つくり	1 月 07 日
ナスたちウム セントジョンズワート ムスクマロウ	1 月 05 日
オオゴマダラ幼虫10匹近くが元気よく、ホウライカガミを食べる	1 月 04 日
スペアミント パイナップルミント ボリジ チェリーセージ	1 月 02 日

## 我が庭畑の「NHKテレビテキスト『トロピカルプラント』」 5

2014 年 08 月 24 日

最終回。この本の折込でトロピカルプラント図鑑があり、本文にはないものがいくつも紹介されている。その中で、我が庭畑にあるものが10種類ぐらいあるが、紹介は省こう。今回は果樹が中心だ。

まず左のマンゴー。我が庭には、金煌マンゴーの巨木がある。高さ4メートルを超すとカットしているが、樹冠面積が半端でなく広い。樹冠の直径は、数メートルを超すだろう。ある年、300個の実をつけたことがあるが、それ以後、台



風の影響を受けて、収穫ゼロ状況が続く。今年は雨量の多さにやられた。美味しいものだが、収穫できるかどうかは「運」だと思って開き直っている。

次は、右のバンシルー（グアバ）。植えて数年たつが、今年ついに本格的な収穫が始まった。鳥も好物なので、鳥と取り合いだ。



下左のドラゴンフルーツは、毎年100個以上収穫している。20日にも15個収穫した。



屋上で15鉢ほどに育てている。花が美しい。夜8時ごろ開花し、朝8時ごろにはしぼむ。写真は朝6時ごろの撮影。3階玄関脇から、屋上にむかって撮影。

パイナップルは、育てていない。農家が育てるものだと思っていたので、こういう本に載るとはびっくり。





本書の最後はハイビスカスが飾っている。我が家には、6種ある。今回は、我が家で一番繁栄している2種の写真だ。





## 我が庭畑の「NHKテレビテキスト『トロピカルプランツ』」 4 2014 年 08 月 21 日

このテキストの水辺植物・食虫植物を中心とした箇所には、我が家にはないものが多い。

まず水辺植物のシペラスとコロカシアはない。

スパティフィラム（左写真）は、長年付き合ってきたが、水辺植物という認識はなかった。日蔭で湿気を好むぐらいにしか思っていなかった。現在 2 本あるが、いずれも、7、8 年前訪問者にいただいたものを、地植えにしたものだ。ほぼ放置状態だが、年に数回、開花する。白くて清楚な感じだ。

ウツボカズラ、ハエトリグサ、ムシトリスミレ、サラセニアといった食虫植物は、苗店や植物園でみかけるが、育てようという気持ちにはならなかった。なにか機会があれば、やってみようか、と思うかもしれない、というぐらいが実情だ。



次は果樹だが、パイナップルを除いて、すべて育てている。

パパイヤは、ずっと育ててきたが、ここ 3 年ほど台風で不振だ。今年も、何本か台風で飛ばされてしまった。ただ一つ残ったのは、オスだ（写真）。よく開花するが、結実するわけがない。

最近、2 本苗を買ってきて植え付けた。6~7 月には種を畑にばらまいた。



これまでの経験では、購入苗の成功率は低いですが、コンポストに入れた野菜くずから出てきたものが立派に育つことがある。だから、運を天に任せる育て方だ。

バナナとのつきあいは長い。現在は 2 種類。

上写真は、ごく普通のもの。まもなく開花結実になりそう。高さ 3~4 メートル。子株を別の箇所にも植えている。

下写真は、昨年植え付けた三尺バナナ。タグには 2 メートル余りで開花結実と書いてあったが、現在 3 メートル。まもなく開花結実だろうと思ってから、早や 3 か月。現在 3 本。連続して開花結実することを願っている。背丈だけでなく葉っぱもズングリムックリなことが特徴。





## 我が庭畑の「NHKテレビテキスト『トロピカルプラント』」 3 2014 年 08 月 18 日

ストレリチャ（極楽鳥花） 中左写真

何年前のことだかも忘れてしまったが、多分、我が家訪問者がお土産に持ってきてくださったものか、近隣の方からいただいたものか、を地植えにしたものだろう。育て方もよく分からずに放っておいた。すぐそばに、ハイビスカスもオクラレルカも植えたので、混線状態。

ところが、2、3年前から成長がよく、ついに開花するようになった。その写真は、すでにこのブログに掲載した。今、開花休憩中。また咲きそうな気配。

追記 これはストレリチャではなく、ハンギング・ヘリクニアであることが判明。



中右写真 ブーゲンビリア

我が家最高の樹木。最高といっても、つる状に伸びた枝を3階まで誘引したものだ。現在地上から10メートルほどだが、このあたりから上に伸びさせるのは無理になってきた。

年に数回開花。開花したら剪定をする。剪定も大変だ。剪定し誘引する。剪定一か月後でたくさん開花しはじめ、二か月後に満開となる。

それだけの手入れが必要だが、我が家の花木の主といった感じだ。

マンデビラ、トケイソウ この二つは、我が庭畑にはない。



クダモノトケイソウ 左写真

普通のトケイソウはないが、これは、合計5本

植えている。巨大化し、20メートルぐらい伸びたツルで一杯だ。畑の面積占有率最大といった感じ。

パッションフルーツといった方がわかりやすいだろう。実は、紫と黄の二種あるが、紫の方が小さくて美味しい。黄は、ダチョウの卵のように巨大化し、20センチ近くなるものもある。一年に2回収穫している。2回収穫に驚かれる人も多い。春に開花したものの収穫は6月から8月中旬まで。今年は200個を越した。時に、季節外れの開花をみることもある。

10月になると、大量に開花し、人口授粉の日々が2か月ほど続き、年末から収穫開始となる。



#### アセロラ 上右写真

一昨年から植え始めた。現在3本。高さ2メートルほどになり、開花を始めたものが2本。台風のためか結実まではいかなかった。今後に期待する果樹だ。



#### 熱帯スイレン 中左写真

我が家の池と水槽で育てている。NHKテキストの同じ箇所に紹介してある温帯スイレンはない。

生育力が強い。葉が広がって、水面を占拠する感じになる。現在、ホテイアオイと激しい競争をしている。美しい花も咲かせてくれる。



## 我が庭畑の「NHKテレビテキスト

### 『トロピカルプランツ』」2

2014年08月17日

クロトン 右写真

我が庭畑に3~4種10本ほど育っている。沖縄ではあまりにポピュラーで、我が庭畑でもほっとしている。それでもどんどん伸びるので、時々カットが必要。バリ島で見たものは、沖縄のものより、さらに巨大化して驚いた



ことがある。

写真のものは、現在高さ3メートルだが、いずれ5メートルを超して、玄關脇植物に伍すことになるだろう。

ビカクシダ これは我が庭畑にはない。



ドラセナ・コンシンネ 中左右写真

我が畑庭には何本もある。NHK本には、樹高15~200センチとあるが、我が家の最高のものは、4メートルだ。これくらいが限界に近そうだ。上への成長が止まり、脇から新

しいものが出てくる。

我が庭には、普通のものと同様に、赤い葉のものもある。高さ1~2メートル

アンズリウム これは我が庭畑にはない。

エンジェルストラランペット これは我が庭畑にはない。





サンダンカ 左写真

我が家に数本植えている。半月ほど前、花が氾濫していたが、今は休憩中？ 一年に何回も満開がある。

プルンバーゴ これは我が庭畑にはない。

デュランタ 中右写真

タイワンレンギョウと呼んでいる。とても美しいので、ブログで繰り返し紹介してきた。NHK本には、樹高0.3~2メートルとあるが、我が庭畑のものは、0.5~2.5メートルほどだ。数本植えている。

下左写真

この仲間で、キバナタイワンレンギョウ、またはキバタイワンレンギョウと呼ばれるものが玄関脇にあり、高さ4メートルを超す。専門家も、こんな大きいのを見たことがないといわれる。無数の花と実が並んで美しい。





## NHKテレビテキスト「トロピカルプラ ンツ」掲載植物の半分は我が庭畑にあっ

た 2014年08月15日



店頭で面白そうだし役立ちそうだと思って購入。正式タイトルは、NHK出版「NHK趣味の園芸ビギナーズ7~9月号」2014年6月発行。表紙には、「NHKテレビテキスト」「はじめて熱帯植物を育てる人の本」「夏を楽しむトロピカルプランツ」とある。現在、教育テレビで放送中。

読んでいく、というか見ていくと、掲載されている植物の半分以上は、我が庭畑で育っているものだった。ようするに、我が畑庭は、「トロピカルプランツ」場になっているということだ。ごく自然の話だが、なぜか、我ながら驚きだ。

では、掲載植物を順に書き出し、我が庭畑にあるものを紹介していこう。一部は写真を添えていこう。



プルメリア 右上 数年前、隣人にいただいた苗を中庭に植えたが、現在高さ4メートル。白い花を咲かせてくれる。  
追記 後に、ミフクラギであることが判明した



ペンタス 中左 数年前、購入した苗を挿し木で繁殖させる。あちこちに数十本生育。

ランタナ 中右 以前、大繁殖させていたが、知人がハブを呼び寄せやすいというのが、なくしていた。今春、再び植える。

ハナキリン 40年つきあってきた。最近、再び植える。7月の台風で打撃を受けたが、しっかりと伸び始めた。(台風のために、写真にするほど美しくなっていないので、写真省略)

ヤシ類 右 我が家には、トックリヤシモドキ(高さ3メートル) マニラヤシ(高さ4メートル)(下右写真) ワシントンヤシ(幼木高さ1メートル)が育っている。

ネオレゲリア 我が庭畑で似た形のものにムラサキオモトがあるが、調べてみると、全く違うものようだ。





## ナタマメを育てる

2014 年 08 月 09 日

薬用になるという、ナタマメを種（豆といった方がいいだろう）から育ててみる。

大きな豆を植えて数日後、芽が出てくる。

写真は、ほぼ 10 日後の状態。

新聞広告などで出てくるが、苗店でも売っていて、数度植えてみた。数個収穫したが、うまくは言っていなかった。種を売っていたので、今回は、コンテナ植えにしてみた。台風 8 号でやられたゴーヤとナーベラの後に植えた。ベランダのネットを伝わせて、グリーンカーテンにしようという魂胆だ。

ぐんぐん伸びてくる。楽しみにしている。



Wikipediaによると、血行促進や免疫力向上などの効果があるとのことだ。と同時に、「豆類全般にいえることだが、ナタマメにも毒がある」という。これから研究していこう。

右写真は、発芽の時の写真





## ドラゴンフルーツ収穫

2014 年 08 月 09 日

今年は、5月ごろの雨続き日照不足のためと7月上旬の台風8号のためか、開花収穫が例年よりほぼ二か月遅れた。8月に入ってやっと7~8日に10個余り収穫。来客に早速さしあげた。

昨年一昨年も台風で苦戦したが、それでも7~10月は平均すれば、一日あたりほぼ一個ずつ収穫。今年は、二か月遅れだが、それだけの収穫を期待している。台風12号、11号で冷や冷やだ

ったが、8号の時のようなダメージはなかった。

自然の摂理だろうか。蕾をつけてほぼ一週間後の満月または新月の夜に開花し、その後20日余りで、色が赤くなって収穫。

我が家のものは、外も中も赤くて美味しい。食べてみたが、今年も美味しい。苗は、近所の方にいただいたものを挿し木したものだ。すべて屋上の大型鉢十数個で育てている。土は、砂と堆肥を混ぜたものを中心にしている。毎年、少しずつ栄養分を補充している。



## クワンソー収穫 酒に浸ける

2014 年 08 月 05 日

クワンソーは、手入れなしでも、どんどん繁殖する。適宜収穫しないと、まわりの植物をおおってしまいそう。

ということで、収穫。根からすべて掘り出す。

刻んで乾燥させる。

酒に浸ける。今回は、残っていた乾燥クミスク



チンもいれた。

それでも、大量に余っている。残りはさらに乾燥させて、薬用茶などに使おう。クワンソーは、不眠に効く。

ついでながら、花がとても美しく、薬用効果が高いそうだ。しかし、この季節には開花しない。ヒガンバナに似ているが、毒はない。







## クールミント バナナミント メキシカン・スイートハーブ

2014 年 07 月 29 日

今回は、台風にもまったくめげずに元気なハーブを掲載しよう。

まずミント類。たくさんあるなかで、クールミントとバナナミントは、台風の影響まったくなし。それどころか、他の植物が苦しんでいるのを絶好の機会ととらえたのか、ますます

旺盛に繁殖。

上写真がクールミント。2坪ほどを埋め尽くしている。他にも数か所で張り切っている。いつか大胆に処理しなくてはならない。

右写真はバナナミント。これは、ヨモギやタマリユウなど他のたくましい植物がいようがいまいが、それを「気にせず」広がっていく。



もう一つ元気がいいのがメキシカン・スイートハーブ 下写真

これらはたくましいので、地被植物としても活用できそう。普通のところに植えるのではもったいない。悪条件極まりないところで育てた方がよい、というのが私の結論。大雨にも日照りにも強いし、寒暖も関係なしだ。

しかも、ハーブティーに十分に使える。初心者が育てるには、一番楽な種類だ。気を付けることは繁殖し過ぎだけだ。





## メダカ 池 カダヤシ エンサイ

2014 年 07 月 27 日

昨年 8 月からメダカを飼っている話は、しばし記事掲載しなかった。

20 匹買ったが、そのうち 14 匹ほどが順調に生育し、10 月ごろから産卵し始めた。卵を親が食べるというので、産み付けたホテイアオイをバケツに移した。数日後には赤ちゃんが泳ぐようになる。一か月ぐらいして、水槽に戻すと、数日でいなくなる。赤ちゃんを親たちが食べてしまうのだ。

そこで、3 か月間バケツで育て、2 センチ近くになってきたものを水槽にもどすと、大丈夫。

こうして、現在、

水槽に 30 匹近く、玄関脇の甕に 20 匹余り、バケツの稚魚が 30 匹近くになった。もう殖やすことに精を入れる必要はなさそうだ。

他方、庭の池に育てていたカダヤシ（タップミノ）が、先日の台風以降、見かけなくなった。原因不明だが。メダカとかグッピーだと思い込んでいた以前に比べて、私の面倒見が格段に悪くなったことが大きいだろう。

ということで、住人がいなくなった池に、現在バケツ飼育中のメダカを移すことにした。池を洗って、ホテイアオイとエンサイと買って来た水蓮とを入れた。数日後に、メダカを移す予定。ただ、池に蛙がしばしば出入りしているのが気がかりだ。いつものように、たくさんのおたまジャクシを産み付けそうだ。



エンサイを入れるのは水の浄化作用が強いからだ。濁っていた水槽の水も、先日、元気のいいエンサイを入れたら、透き通ってきた。

いつかリュウキュウメダカを飼ってみようか、などとも思っている。それとも、他の種類にするか。小さな魚は、私の「癒し」係でもあるようだ。





サンダンカ ゲッキツ 月下美人 ライチ

チ 2014 年 07 月 25 日

8日の台風の後片付けは、2週間かけて第一次完了だ。というのは、潮風にやられた葉が台風後一週間ぐらいて大量に落ちてくるからだ。台風直後は元気だと思っていたものでも、しばしたつと、やはりダメージがあったことがわかることがしばしばだ。

さらに一週間をかけて、後片付けだ。その後、ようやく新規作業に入れる。

台風をものともしていない植物をいくつか紹介しよう。

左上 鮮やかに咲き誇るサンダンカ

右上 白いたくさんの花が印象的なゲッキツ

左下 月下美人が蕾を5つつけている。写真では3つが写っている。まもなく来る新月に開花しそうだ。

右下 私が、枝を切っているときに落ちたあたりのライチ。その切ったライチの枝から新枝が元気よく伸びてきた。この枝からは来年の収穫はない。その翌年になる。



## コーヒーとカニステルの実 ドラゴンフルーツとサガ

### リバナの開花

2014 年 07 月 13 日

台風が我が家の庭畑を荒らしまわった。後片付けに一月かかるかもしれない。焦って、また木から落ちては大変だと、ゆっくりと後片付け。

今回は、台風襲来直前に撮影した写真を紹介しよう。

右 コーヒーの実。11月に収穫予定だが、今年は数十杯は飲めそうだ。台風被害は少ない。

左 ドラゴンフルーツの花。満月や新月あたりは、花で溢れる。意外にも、台風被害は少ない。



右 カニステルの小さな実。開花も見たが、撮影しそこねた。目立つ花ではない。台風の影響は少ない。



下右 サガリバナは、一週間おきぐらいにたくさんの蕾をつけた房が下がってきて順々に開花する。昨年までだと、10月まで続いたが、今年もそうだろう。





## ようやくドラゴンフルーツの季節

2014 年 07 月 07 日

いつもなら、6月初めには開花、6月終わりには収穫開始だが、今年は、つぼみさえなかなかつけないのでヤキモキしていた。育て方の問題か日照不足のためか、少々心配していた。

ところが、7月に入って、ドラゴンフルーツが大量の蕾をつけた（左写真）。30個余り。

これで、日照不足であることが判明。6月26日の梅雨明けで、本格的な夏の日照が始まる。

一つだけは早めに開花したが、右写真はその開花直前。7月下旬には収穫に至るだろう。大量開花は、7月12日ごろだろう。不思議なことだが、満月か新月のころに開花するのだ。夜8時ごろから開花し、朝までにはしぼむ。

来客に振舞うなどは、8月に入ってからになりそうだ。我が家のものは、表面だけでなく、中味の肉も赤い美味しいものだ。例年のように11月はじめまでの収穫を期待している。







## らせん型ハーブ園 2

### 号とステビア

2014 年 07 月 03 日

梅雨の長雨大雨で大変な目にあつたハーブもあるし、たくましく生き抜いたものもある。この後の夏の暑さで苦しむものもあるだろう。

ということで、我が庭畑のハーブのなかの元気者について

連載してみよう。

まず、現在のハーブ育ての中心は、二つのらせん型ハーブ園だ。写真のものは、2013年1～3月に作った新しいものだ。山のようになっているが、中身は枯れ枝や枯れ葉などの有機物だ。そのため、水はけはいい。それでも、梅雨の過剰雨と日照不足のため、タイムやカモミールは元気をなくしている。

他は元気なものが多い。

驚きは、ステビアの成長だ。（下写真）

ステビアはこれまで数回植え付けたが、すべて失敗した。1年どころか半年も持たなかった。ところが、昨年植えたものが、さらに広がり始めたのだ。植えた場所がよかったのだろうか。

ステビアは甘味料として有名だ。我が畑には、ハーブティーに甘味を加えるのに大活躍のメキシカン・スイート・ハーブがあるが、こちらは、繁殖しすぎて困るほどだ。



## 我が庭畑近況

2014 年 06 月 27 日

26 日午後 2 時梅雨明け宣言

長く大量の雨続きの梅雨だった。庭畑も水が溢れ過酷な日々だった。よくぞ生き残ったという植物もいれば、残念なことになったものもいる。

でも、梅雨明けし、この時期の花々が大量に咲き始める。もう咲いている花は、オオバナアリアケカズラ（写真）、ハイビスカス、タイワンレンギョウ、ブーゲンビリア、アマリリス、サガリバナ、ジャスミンマツリカ……。

この時期の庭畑 5 大ニュース

1) パッションフルーツの大豊作。毎日、10 個ほどの収穫。大量収穫がまだ続きそうだ。開花がまだ続いている。対照的に、例年だとすでに収穫開始になっているドラゴンフルーツが芳しくない。日照不足か栄養不足か隔年現象か。大量収穫のライチは完了。

2) 畑がますます果樹園化している。この季節に大きくなってきているのは、バナナ、カニステル（エッグフルーツ）、ホワイトサポテ、インドナツメ。長雨で大打撃を受けたのは、パパイヤ。そしてマンゴーだが、今年は収穫ゼロ。



3) ハーブは、長年にわたって元気なのは、気候がどうであろうと、元気継続中。最近植えたものの多くは、長雨のためか、うまくいっていないものが多い。近く、元気なハーブ連載をしようと考えている。らせん型ハーブ園に植えたものは、元気がいいのがほとんど。

4) 芝生が再活性化。雑草で半分はおおわれている状況だったが、1 年余りせつせと引き抜き作業をした結果、芝生らしく美しくなった。

5) 野菜では、モロヘイヤ、ニラ、カンダバーなど。ハンダマが長雨のためか元気がない。サトイモが元気よく生育している。もうすぐ収穫にいたりそうな気配。



## 野菜 ゴーヤ モロヘイヤ ニラ

2014年06月22日

今回は、現在収穫中の野菜について書こう。大量の雨を長期間もたらしている梅雨で、多くの野菜が困った状態になっている中、収穫できているものだ。

まず、ゴーヤとナーベラ。今年は、ベランダでグリーンカーテン向けにつくった。ナーベラはすでにおいしく食べたが、今度はゴーヤが食べられそうだ。

ニラ（下左）は、4月頃から収穫し続けているが、雨にも屈せず生育し、食材になり続けている。

これから収穫本番に入るのは、モロヘイヤ（下右）。畑にもベランダのプランターにもたくさんあるので、もう少しばらくすると、食べきれない状態になるだろう。

ほかには、カンダバー（さつまいもの葉）が元気だ。葉野菜が少ない季節の救世主だ。

もう一つ期待しているのは、うりずん豆で、生育盛んになってきている。収穫までにはあと半月以上はかかりそうだ。







## パッションフルーツの本格的

的収穫 2014 年 06 月 20 日

梅雨明けが、今年は遅くなりそうだ。それでも、セミがうるさく鳴き始める季節になった。夜は、短い晴れ間にさそり座や天の川が見える。

ライチ（レイシ）の収穫は、19 日完了した。入れ替わって、パッシ

ョンフルーツの収穫が本格化した。4 月から咲き続け、人工授粉を毎日したが、その成果が実って、一日平均数個を収穫する。味はなかなかいける。先日、近所の美食家におすそ分けしたが、買って来たものよりおいしい、というご感想をいただいた。

写真のように鈴なりにになっている。開花後 2 ヶ月たって収穫。苗を 5 本植えている。紫色が先行したが、黄色のものも収穫開始だ。黄色のものは、なぜか巨大で、10 数センチもある。ライチの上に置いて撮影したが、2~3センチのライチと比べれば、大きさがわかる。紫のものは、10センチ足らずだ。

パッションフルーツの実を二つに切って半球を作り、そこにワインか泡盛を注いで、パッションフルーツの中身とともに味わうのを、かなり以前に習った。なかなか美味しい。



## 木から落ちる物語

2014年06月14日

11日記事で、ライチ(レイシ)の実を採るときに、木から落ちたことを書いた。その顛末を書こう。高さ4メートルのライチの木に、千数百個の実がついた。高すぎるので、一個一個採るなどと悠長なことをしておれない。それに高すぎるので、今後のことを考えて、収穫に合わせて大胆に枝を切ることにした。切った枝からは、翌年実はとれない。しかし、ライチは3本あるので、順繰りに収穫すればいいということで、今年は、一番収穫の多い木を、高さ2メートル以内に抑えるようにしたい。

そこで、幹に乗り大きな枝を切って降りようとするとき、連日の雨で幹が濡れているので、滑ってしまったのだ。高さ1メートルからくらいだったことが幸いした。これが2メートルぐらいからだったら、と思うとゾットする。

この10年間で、こんな目にあうのは3回目だ。一回目は、ベランダのシッサスの鉢を、地植えにしようとして運んでいるとき、ふらついて、ベランダから鉢ごと転がった時だ。高校時代の柔道の受身が役立ち、痛い思いをただけで済んだ。2回目は、これまたベランダで脚立に乗って作業をしていた時、脚立が開いてしまい、エスカレーターのように、下にドスンとなってしまった。それ以来、安全留め金をきちんとして作業することにした。

3回目は今回だが、3つの中では、最悪だ。

「フワッ、ドスン」という感じだった。下は、タマリユウでふわっとしているので、お尻に痛さはない。落ちて後ろに倒れて、後ろの石に肩甲骨をぶつけた。しばらくして、右膝の周辺が痛くなった。

かすり傷もなく、血は一滴もでていない。落ちた後、「びっくり」した気持ちの方が強かった。骨折で救急車のお世話になるのかな、とも思った。しばしして、体を動かしてみると、何も問題ない。ほっとした。恵美子を呼ぶのも面倒だ。

ということで、切った枝から、ライチを採る作業と現場の片づけをして、台所に戻る。ライチを洗う。なんか恥ずかしいので、恵美子には黙っていた。

しばらくして、膝周辺や肩甲骨あたり打撲による痛さは感じていたが、強いものではなかった。そこでどれぐらい大丈夫かどうか確かめる意味で、いつものウォーキングに出かける。一応慎重にいつもよりスピードをゆるめ、5000歩以上歩いてきた。大丈夫と、思った。

その日の午後の看護大学の授業も無事終了した。

就寝時になると、少々痛みが残っており、それでちょっと寝苦しかった。翌朝、膝の痛みが強くなる。曲げるときに特に痛い。

念のため、午前の沖リハの授業を終えてから、医者に行くことにした。いつもの病院に行くと、水曜日は整形外科の外来なしということだった。恵美子からメールが入っていた。イオンタウン向かいの整骨院に行ったらどうか、というメールだった。数年前通った整骨院は、午前の受け付けは11時までとあったので、間に合わない。イオンタウン向かいの整骨院、「いこい整骨院」のことは、ブログで知っていたし、新聞情報などでも、知っていた。

ということで、「いこい整骨院」に入る。10分ぐらい待ったが、待合室の掲示物には、知っている卓球関係者記事や近所の人が主催するスポーツクラブのポスターなど、身近な情報がならぶ。



## ライチ（レイシ）の本格的収穫

2014 年 06 月 11 日

たわわになったライチの実が、鳥に食べられ始めた。

そこで、急いで収穫開始。と言っても、高さ 3~4 メートルだから、枝ごと切るしか方法が一番簡単だ。

9 日、10 日で 4 本の枝を切って、約 200 個収穫。まだ全体の 2 割程度だから、今年は 1000 個を超す大豊作だ。日持ちがしないので、ここ 2 週間に我が家を訪問されると幸せになるはずだ。

枝が雨に濡れていたなので、滑って痛い目にあうこともした。全体に大胆な剪定をして、木を低くする作業をしなくてはならない。





サガリバナ開花 2014 年 05 月 31 日

庭のサガリバナの開花は夜なので気づきにくいですが、朝になって花が落ちているのでわかる。今年、28日の初開花。もう数房が開花している。秋まで長い開花時期だ。夕暮れから開花だ。





## クチナシ ハンギングヘリクニ

## ア ソテツの花

2014 年 05 月 25 日

連日の雨も、ようやく一休止。雨だけでなく地下水も湧き出て、我が庭畑に水が溢れ、あちこちがグジャグジャになっている。根の水腐れで駄目になるものも出始めている。それでも、10年間の作業の成果か、以前より水はけがよくなっている。



そんな中、花の話題三つ。

上 まずクチナシ。一斉に咲き始める。清楚な色だが、形は存在感が強い。庭畑の隅にあるが、白い花で目立つ。

左は、ハンギングヘリクニア。何年も前のことだが、いただいた苗を植えたまま、ほったらかしにしておいた。今年初めて、つぼみをつけた。開花寸前状態のようだ。

5月4日記事で紹介したソテツの花が大きく成長した。





### コーヒーの木の開花 2014 年 05 月 07 日

3 日ごろから開花し始めた。3 本あるうちのひとつで、一番大きい木だ。昨年までも少ないながら結実し、数杯の自家製コーヒーを楽しませてくれた。

今年の花は、昨年までより数倍多い感じだから、今秋の収穫が楽しみだ。台風被害さえなければの話だが。

花の香りもいい。他の 2 本も合わせて、あと一週間ぐらいは、花鑑賞を楽しめそうだ。

虫もやってきて吸蜜に忙しく、接写しているカメラも気にしない。





## オレガノ 2014 年 05 月 05 日

二か所で育てているオレガノが、このところ元気よく育ち、周りのハーブたちを圧倒している。数年前にもそんなことがあり、オリーブオイルに浸けこむオレガノペーストの作り方を習って、やってみたことがある。

今回は、インターネット情報で仕入れた情報をもとに、オレガノを乾燥させて刻んで、料理に使うことに挑戦してみた。

右写真は、網で干しているところだ。

それでも過剰なので、先日は訪問した知人に根ごとさしあげた。



## ソテツの新葉 2014 年 05 月 04 日

我が庭畑には、10余りのソテツがある。その一本は、建物着工ごろに敷地内で見つけたソテツの赤ちゃんで、適地と思うところに植えたものだ。それは、すでに幹の高さが1メートル近くなり、脇から子苗が一杯出てくる。半分以上は取り、一部は新しいところに植えてきた。それらも、すでに立派になって幹を作りはじめている。

4月に入ると新葉が出始め、4月末には開いて、立派な葉になる。

一つのソテツからは、花の元が出始める。以前に出てきたときは、なんだろうと不思議に思ったが、大きく伸びてくるだけで、雌花のように、「赤いソテツの実」をつけるわけではない。



今回は、2回目だが、雄花か雌花が私にはまだわからない。できれば、雌花で「赤いソテツの実」が見られることを期待している。





## ライチ（レイシ）の実がたくさん着く

2014 年 05 月 03 日

我が庭畑も 10 年が経ち、植えた果樹で立派に育ってきたものが増えてきた。

3 本あるライチ（レイシ）も、4 月にいっぱい開花し、実としてしっかりとした形になったものが数えきれないほどになってきた。6 月になれば、赤い実が収穫できると期待している。

数年前から収穫は開始しているが、鳥と台風で苦戦してきた。今年はなんとか、手を打たなくてはならない、と作戦を考え中だ。

## パッションフルーツ満開 人工授粉作業

2014 年 04 月 28 日

開花し始めて一か月。4 月半ばから本格化し、一日 20 個前後。午後になると、毎日、人工授粉。耳掃除用の綿棒を使ってやっている。

もう総計 300 個は授粉させたいが、すでに実が大きくなったものがある。この調子で行くと、今シーズンは 500 個は収穫できそうだと「捕らぬ狸の皮算用」。収穫開始は 6 月になるだろう。

現在、5 本植え付けているが、そのうち 4 本は順調。一本は、植え付けて半年なので、開花収穫は、今秋以降になりそう。





## ティートリー満開 2014年04月23日

日

ようやく満開状態になってきた。これから一週間が見頃か。例年よりずいぶん遅い。3年前の台風で倒れる以前の満開状態にはあと一歩という感じだが、美しい。

この写真は、中山と玉城・新原を結ぶ道路から撮影。両側を森で囲まれた我が家の建物の下あたりに、ティートリーが見える。





## ティーツリー見ごろ近

づく 2014 年 04 月 14 日

4 月上旬の寒さのために開花の進行が遅れていたが、ここ 2、3 日の暖かさによりややく本格的開花になる。例年より半月ほど遅いか。

数日後に満開になりそうだ。これから一週間が見ごろ。



## ライチ満開 チシャノキ満開

2014 年 04 月 11 日

ライチ（レイシ）が満開だ。赤い新葉とコントラストをなして美しい。早いものは、もう小さな実になっている。6月になれば、収穫できるだろう。ここ3年ほど、台風で駄目になったので、「今年こそは豊作を」と期待している。



我が敷地の西端のチシャノキも満開だ。高さ8メートルほどの、敷地内最大の樹木だ。  
左と下の写真



## オクラレルカ満開 2014 年 04 月 08 日

テレビや新聞で、喜如嘉のオクラレルカ満開の報道を見る。

我が家でも、満開を迎えた。数年前にいただいたものだが、生育がとてもよくて、株分けし、現在三ヶ所で育っている。

これから一週間ぐらいが見ごろだろう。喜如嘉まででかけるのは大変という方は、我が



家へどうぞ。といっても、喜如嘉のものの一万分の一ぐらいだろう。

似たものにショウブとかカキツバタとか、いろいろとあるが、私には違いがよくわからない。オクラレルカは葉がとんがっているとかどうか。

それにしても面白い名前だ。



大城正重・大城雪子・大城  
盛安・照屋安啓・みなみ野  
クリニックガーデン 南城  
市オープンガーデン2

2014年04月07日

5日は、前回紹介した川端栄吉ガーデンのほかに、次の所を訪問。写真と私が読み取った「テーマ」とコメントを示そう。



上写真  
大城正重ガーデン（志堅原）  
「大きな花たちに囲まれた充実」  
ダリアやカンナなど大型の花一杯の「花農園」  
という印象。

左写真  
大城雪子ガーデン（屋嘉部）  
「こんなに一杯の多肉の勢揃い」

多肉だけでなく、多様な植物、そして海を見渡す広がり。

右写真  
大城盛安ガーデン（津波古）  
「山と海を見渡す広がりのあるコントラスト豊かな庭園」

広い庭園を、ゆったりと、それでいてコントラスト溢れる設計。素晴らしい二階建て東屋から眺めるスクナムイと中城湾 次ページ上写真





照屋安啓ガーデン（古壑）

「弾け飛びそうに溢れつつ、まとまり感があるとびきり美しい庭」

多種の花が一斉満開状態。ここまでするには、なみなみならない手入れをなされたことだろう。



下写真

みなみ野クリニックガーデン（大里）

「山であり庭園である」

クリニックうしろの山全体が庭園。散策路として充実。ウサギまで遊んでいる。





# 花と緑と人が創るハーモニーが心を包みませる川端栄吉ガーデン 南城市オープンガーデン1

2014年04月06日

5日から恒例の南城市憩いのオープンガーデン。春秋に行われているが、今回は9回目。そのうち5、6回は出かけてきた。とい



うことで、今回は、未訪問宅を回るが、初めてオープンにしたお宅が多い。5日午前から昼にかけて6か所訪問した。

当然だが、各お宅には「テーマ」が自ずとある。

まず、強烈な印象を与えてくださった川端栄吉ガーデンを紹介しよう。親慶原のチャーリーレストラン近くだ。

私を感じたテーマは、「花と緑と人がつくるハーモニーが心を包みませる」だ。

ガーデンという温泉に入った気分になる。

工夫をいっぱいにはらみ、丁寧にいきわたった手入れが、うっとりする美を作り出している。

ソテツの幹の肌の美しさ。肌に苔とオオタニワタリが可愛くアクセントをつける。愛情こめた手入れのたまものだろう。



花々の美しさと緑のからみがいい。歩くと、地面がふわっとする。スポンジで通路をつくられたとのこと。すごい工夫だ。







ブーゲンビリアのトンネル

ピラカンサが、入口を飾る。今は白い花だが、季節が変わると、赤い実になる。



すぐ近所には、卓球仲間の川端夫妻のガーデン（下写真）がある。このガーデンも素晴らしいが、オープンにはしていない。オープンにする価値あり。私はよくお邪魔する。





新葉 ライチ クロキ

ガジマル サボテン

2014 年 04 月 04 日

このところ、少しずつ暖かくなってきた。平年気温よりやや低めなので、ティートリーなどの満開はかなり遅れている。それでも降雨量の方が平年よりやや多めなので、新葉や新芽が勢いよく出てきている。今回は、それを紹介しよう。

の満開はかなり遅れている。それでも降雨量の方が平年よりやや多めなので、新葉や新芽が勢いよく出てきている。今回は、それを紹介しよう。

まずライチ（レイシ）。赤い葉っぱが出てきて、しばらくすると緑に変わる。上写真

右写真 クロキ（クルチ、リュウキュウコクタン）。一気に大量の枝葉が出てくる。

下左写真  
ガジマル。

下右写真  
最後に、サボテン。小さな葉だから、気づきにくい。高さ4メートルのてっぺん。

こんな風に春めいてくると、気分がいい。ただ蚊も気分がいいのか、大量に飛び始めるので、困ったものだ。そろそろ、蚊よけ全面装備で畑作業をしなくてはならない。



## ブロッコリー収穫 食べる

2014 年 03 月 28 日

ついにブロッコリーを収穫して食べる。これまで失敗ばかり重ねてきたが、やっと成功。

カットして皿に並べたら、溢れるほどになった。

この後、ゆでて食べる。いつも通り、ドレッシングなしでいただく。濃密な味だ。自分で作って、とりたてを食べるのは、幸せそのものだ。



昨秋、雄花のつくパパイヤの木を切った後に植えたので、栄養状態がよかったのが成功の理由だろうか。あと一本苗が育っているが、日当たりが悪いためか、生育が遅い。



## 100%我が畑産の

### 11種野菜サラダ

2014 年 03 月 23 日

ルッコラ サラダバーネット  
ト オキダイナ レタス セ  
ロリ パセリ イタリアンパ  
セリ チャービル ナスタチ  
ウム ポリジ ハンダマ

来客のおり、とりたてのもの  
のを並べた。

ナスタチウム（金蓮花）は、  
花も葉も。このごろ、あちこち  
に咲いているが、食用にして

いる人は少ない。食べられることを知っている人も多くない。私自身も、数年前の来客から教わった。

青いポリジの花も並べた。

今年のルッコラは、味が濃い。ルッコラのうちの半分は、昨年春から元気であるものだ。一年草が多年草化している。茎も太くなっている。そのせいか、味が濃い。我が家の野菜は、化学肥料ゼロのためか、大きくはならないが、味が濃く、多くの来客が美味しいと語る。いつも食べている私たちは、これが普通だと思うが。

味が濃いので、私は、ドレッシングなしで、そのまま食べる。

ここに書いたすべて種類は、大量栽培ではなく、まさに多品種少量生産だ。しかも、混植だ。

この季節は、我が畑産の野菜が増えてうれしい。このほかには、コマツナ、春菊、ミニトマト、ツルムラサキ、チマサンチェ、タマナ（キャベツ）、ブロッコリー、ホウレンソウなどが、収穫中またはまもなく収穫だ。

5月ごろまで続きそうだ。





## 堆肥つくりと有機液体肥料 ブロッコリー

コリー 2014年03月21日

今回は、我が庭畑の栄養について書く。

主体は、コンポスト（上写真）を使った堆肥つくりだ。

現在、4つのコンポストを順番に回している。役所の半額補助で購入したものだ。畑に穴を掘り、コンポストを置く。コンポストのなかには、半月ほど乾燥させた落ち葉や剪定した枝葉や野菜くずなどを入れる。時々、畑土を間に入れる。枝葉などは、穴があって雨水がたまらず通風性のある容器に半月ほど寝かせて乾燥させる。蓋としてダンボールをかけておく。コンポストには80日ほど入れておく。コンポストを取った後の半熟状態の堆肥には雨水よけにダンボールをかけて、さらに100日ほど寝かせておく。こうして、半年近くして堆肥になり、その場に苗などを植え付ける。

コンポストを順繰りにまわしていくと、約4年ほどで畑を一周する。畑での堆肥つくりを始めて満9年になり、現在は3巡目に入っている。畑を耕すのは、コンポスト用に穴をあけるときだけだ。この畑は不耕起でやっている。別に不都合は感じていない。

写真は、枝葉などをためる容器と、かぶせるダンボールだ。



もともと栄養不足状態の畑だが、半分以上はこの堆肥で補っている。栄養が必要な野菜などには、数百倍に薄めて与える有機液体肥料を時々与えている。そして、市販の堆肥を植え付け時などに与えている。

今年は、これらがようやく順調にいきはじめ、野菜の生育も、家庭菜園としてはまあまあだろう。写真は、まもなく収穫を迎えるブロッコリーだ。これまでは失敗続きだったが、今年初めて成功した。



いろいろな試行錯誤ばかりの我が庭畑だが、ようやく好循環状態に入りかけている。

いろいろと試行錯誤ばかりの我が庭畑だが、ようやく好循環状態に入りかけている。



## 新芽吹き出す 柿 キンカン ア

ボガド 2014 年 03 月 19 日

新芽が出てくる時期だ。上写真は、柿。昨秋植えた苗木から出てきた。柿の実がつくのは何年後か。すでに一回失敗しているのので、今度こそはと期待する。



左写真 これまた昨秋植えたキンカンに新芽が出てきた。

台風にやられたアボガドで、もうだめかとあきらめていたアボガドからも新芽がでてきた。これは「かろうじて」という感じなので、期待しない方がいいかもしれない。

ライチ（レイシ）も赤い新葉が出てきている。

新芽・新葉がでてくると、春の気分が高まる。蝶々の飛び回るのも増える。



枇杷の収穫へ マンゴーの実が  
つき始める シャリンバイ開花  
このごろの庭畑

2014 年 03 月 03 日

日が長くなって暖くなり、適切な雨量もあるためか、植物の生育が順調だ。葉野菜の収穫も、この時期だけは、我が家の必要量を超す。

果樹も順調だ。

上写真

枇杷の実が色づき始め、まもなく収穫だ。今年は今までより、量も多くなりそうだ。鳥に食べられないように、鳥よけをぶら下げた。

右写真

金煌マンゴーの開花が終わり、つけた実が見えるようになった。



メイフラワーはほぼ散ったが、シャリンバイの開花（下写真）がはじまった。この木は、敷地の西南のチシャノキの木の隣に育っている。植えたわけではなく、自然に伸びてきた。我々がここに住み始めて間もなく、小さな木を見つけた

が、いまでは2メートルぐらいの高さに成長した。



ほかにも、長命草やイーチョーバなども開花している。開花が多くなると、蝶も飛び始める。しばらく前から、オオゴマダラもよく現われる。我が敷地で羽化したものかどうかはわからない。2, 3羽がからみあう飛ぶ光景も見る。このブログに蝶の写真を紹介するのも間近だろう。

こんな春めく報告が増える季節だ。



## 柿 クバ サルスベリ バラ アボガド 我が家の樹木最終

回 2014 年 03 月 01 日

長くなった連載を、今回で閉じよう。

右写真 まず柿。数年前にも植えたが失敗。今回再チャレンジ。新芽が出てきた。



中左写真 クバは、恵美子が好きで、近くで見つけた小さな苗を、1月に三本植えた。ようやく新葉が出てきたので、根付いたように思われる。沖縄自生で大きくなり日蔭も作るので、期待している。

中右写真 サルスベリは、この時期落葉しているが、間もなく新緑になり、初夏になればピンク色の花



をたくさん咲かせ始める。現在、4本育っている。

下左写真

バラは、どこの庭でも見かけるほどのものだが、我が庭はゼロ状態が続いてきた。「申し訳」程度にミニバラを一本植えてみた。

下右写真

アボガドの苗はずいぶん価格が高い。それでも、というので、鉢植えにした。一応成長し始めたが、

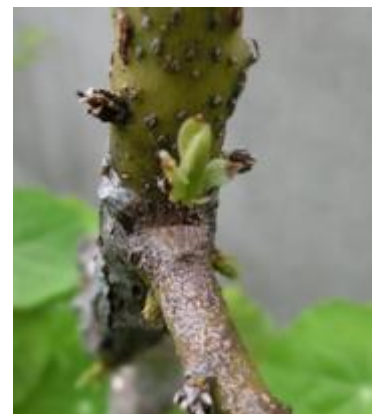


台風で無残な姿になった。それでも、昨秋新芽が出てきた。しかし、再び落ちて、もう駄目だと思った矢先、数日前、再び新芽が出てきたのを発見。なんとか育たないものだろうか。



他に、何本か忘れていた樹木があるかもしれない。

今はないものが何本かある。カシワバゴムノキは、巨大になりすぎるし、近くの森にもいっぱいあるので、伐った。育てるつもりだったが、台風被害や移植失敗などで、今はないものには、テンニンカ、アテモヤ、リュウキュウサザンカ、ポインセチアなどがある。







ジャボチカバ パパ  
イヤ きんかん シ  
ークワサー 我が  
家の樹木 1 4

2014 年 02 月 25 日



この連載も、終了間近だ。今回は、植えたばかりか小さい状態かなのだが、これから大きくなって、実をつけてくれるのを期待しているものだ。

上左 まず、ジャボチカバ。これは植えて5年以上たつが、芳しくない。私なりにいろいろと考えて世話しているが、もともとヤンバル向きのようなのだ。

上右 パパイアは、我が畑の常連だったが、ここ3年は台風のためもあって、収穫ゼロ状態が続いている。「これはいける」と思ったら、オスだったということも続いている。

懲りずに、堆肥から出てきたもの、購入した苗から育てたものが混ざっているが、現在10本ほどの小さいものを育てている。今夏からなんとか収穫にこぎつけたいものだ。

下左 きんかんは、購入苗を植えて間もない。初体験だ。

下右 シークワサーは、高さ2~3メートルで収穫をそれなりにしてきたものが、昨夏、病気のためだろうか、枯れた。そこで新苗を購入して植えたばかりだ。







コーヒーの木 ヒメ

ヒイラギ コデマリ

メイフラワー 我が

### 家の樹木 13

2014 年 02 月 21 日

今回は、高さ 1~2 m ほどの木 4 種だ。



上左 まずコーヒーの

木。近隣の方からいただいた苗 3 本。植えてから 7~8 年になる。最初のころは生育状況がよくなかった。ヤンバルのコーヒー園で育て方を習ってきた。ポイントは、酸性土・直射日光を少なくする・湿気など。そこで、鹿沼土を入れた適切な場に移植。2~3 年後には開花し、実を付ける。このところ台風にやられて苦労してはいるが、年に数杯は、自家製コーヒーを楽しんでいる。

立派になってきたので、今年は客人に御馳走できるほどになることを期待している。焙煎機まで購入してあるので、大きな期待。「取らぬ狸の皮算用」かも。

上右 ヒメヒイラギは、我が敷地で生育条件がもっとも悪い場所に植えているので、ゆったりと成長している。「生き延びているのが立派」という感じに近い。とげとげの葉っぱが美しい。

下左 コデマリは、白く可愛い花を咲かせてくれる。先日、生け花展を見る機会があったが、コデマリをうまく活用しているものが多かった。我が家のものは、手入れが悪いためか、生育状況はよくないが、一応花を楽しませてくれる。写真は、根の近くを中心に写す。



下右 現在、満開中のメイフラワー。今回は、根元を紹介しよう。これほど手間がかからず、超元気良すぎるものは少ない。

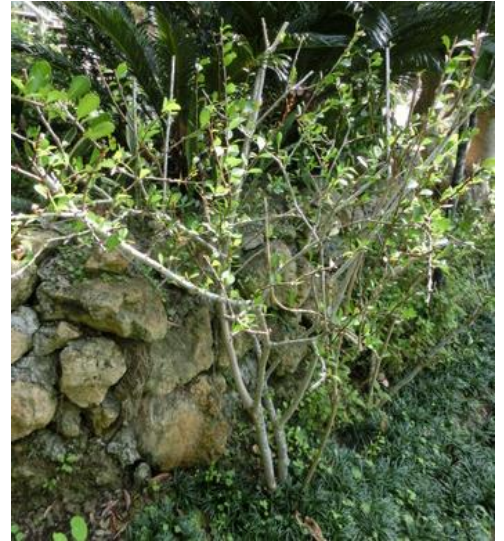






リュウゼツラン ま  
 っこう (ハリツルマ  
 サノキ) さんだん  
 か ソテツ 我が家  
 の樹木 1 2

2014 年 02 月 19 日



今回は、高さ 1 メートル前後のきれいな木たち。

上左 最初は、リュウゼツラン。隣の家と植物を交換し植えて 5 年ほど。最近、生育がぐんぐん。脇からも「子ども」がいくつも出てきた。葉の先端がとがっていて、痛い目に会う事もある。

上右 まっこう (ハリツルマサノキ)。沖縄に来た最初のころだから、もう 40 年を超すが、当時最初に大好きになったのがこれだ。よく盆栽にもされる。放っておくと結構高く伸びる。写真は、10 日ほど前に上部をカットしたので、緑の葉が少ない。しばらくすると、青々とするだろう。落とした種でどんどん広がる。岩の上などでは、横に這って伸びる。

現在、我が庭畑に 10 本は育っている。掌握しきれていない。

下左 写真のサンダンカは咲いていないが、赤いきれいな花を咲かせる。2 月を除けば、いつでも咲いているという感じでさえある。我が家には 3 本育っている。

下右 ソテツも好きな樹木だ。写真中央のものは、幹が高さ 80 センチほどになり、太さも相当なものだ。でかい雄花を毎年咲かせる。脇から、子どもが一杯出てくる。

庭畑の 3 カ所で、10 本以上が育っている。すべてこの敷地で生まれた赤ちゃんを私が植えたものだ。殖えすぎ状態だ。脇から出てくるものを、時々整理している。







開花 メイフラワー 金煌マンゴー セイロ  
ンベンケイ (2種) デイル 2014 年 02 月 18 日

寒暖繰り返すなかで、暖かい日には、我が家の庭畑でも開花が進む。いくつか紹介しよう。

上の左右 この時期の「花形」はメイフラワー。2月下旬に満開状態になりそうだ。いただいた植木鉢のものを露地植えして8～9年になる。放っておくと大きくなりすぎるので、年2回ぐらい、大胆な剪定をして、高さ1mに抑える。

右 我が庭畑の王者である金煌マンゴーが満開状態だ。今年こそは、たくさんの実が収穫できてほしい。5年前の300個の再現を期待したい。







上左右 セイロンベンケイは、2種ある。手入れなしにど  
んどん

広がる。毎年、7~8割を取り除くほどだ。繁殖力が猛烈に強い。

右 ディル。新らせん型ハーブ園で咲く。ウイキョウの仲間だと思う。西洋料理を飾る。







やまもも カニステル ピタンガ ホワイ  
トサポテ インドナツメ 我が家の樹木 1

1

2014 年 02 月 16 日

今回は、植えて間もないのでまだ小さいが、これから大きくなることを期待する果樹たちだ。このなかですでに収穫しているのは、ピタンガの一本だけだ。

左 やまももは、数年前に植えたが、育ちが悪い。台風などもあったためだろうが、最近ようやく順調に育

ち始めた。

右 カニステルは、2年前に、親戚からもらった苗を植えたもので、順調に育ち高さ2メートルを超すほどになった。そろそろ着果してほしいな、と期待する。



左 ピタンガは、2~3年前に2本植えた。すでに1本は小さいが実をつけている。といっても、収穫と言うほどの量ではない。





左 ホワイトサポテは、数年前にも試みたが失敗した。2年前に新たに苗を買って植えた。植えた場所もよかったのか、順調な生育を見せ、高さ1メートルを超した。これまた、そろそろ実をつけてほしいなど期待している。

右 インドナツメは、植えて1年半ほどになる。順調な育ちだ。昨年末のオープンガーデンで、大きな木を拝見して、驚いた。数年でかなりでっかくなるようだ。「覚悟しなくては」と思っている。苗を買った時、試食したリンゴのような味の果物が収穫できることを期待している。

これらが育ってくると、我が畑も、一層果樹園らしくなりそうだ。





## ステキなランのオンパレード 沖縄

国際洋蘭博覧会 2 2014年02月11日

多種多様なランが大量に並ぶ。

その中で、私のお気に入りを選びよう。

今回掲載しきれないものには、2~3月の他の記事を飾る役目を取ってもらうことにしよう。

今回の最後の写真は、最優秀賞をとったもの。ここまで育てるのに20年かかるとの説明。なんとも不思議だ。





ゲッキツ クチナシ ナンテン ユーカリ  
オキナワウラジロガシ 我が家の樹木 10

2014 年 02 月 10 日

今回は 5 種。

右 ゲッキツは、敷地内に数本が自生している。放っておくと、広がり過ぎるので、剪定している。美しい白色の花を咲かせる。写真は、その中で一番大きいもので、高さ

2メートルを超えている。



左 クチナシは、8, 9 年前に植えたものだ。現在、高さ 1 メートルほど。白い花が美しい。



右 ナンテンは、7, 8 年前に植えた。株分けして 2 カ所で育てている。まだ幼木の段階だ。写真は、株分け移植したもので、場所がいいのか、急速に成長し始め、現在 3 本ほどが伸びている。あと 2, 3 年すれば、開花し赤い実をつけることを期待している。愛知の家でも育てていたが、繁殖し過ぎた。





左 ユーカリは、昨12月に植えたばかり。6, 7年前にも植えたが、場所が悪くて失敗した。今回は、土づくりもした良いところに植えたので、期待している。



右 オキナワウラジロガシは、一年前の久米島訪問の際、いただいたドングリ数個から発芽させたものだ。数個が発芽したので鉢植えにした。そのうち一本が、立派に育ったので、露地植えにした。

久米島やヤンバルのような土質が合うと言われ、知人によると、南部では育ちにくく、玉城では体育館近くに一本だけあるとのこと。そこで、鹿沼土を大量に入れたところに植えて、実験中というところだ。大きくなったら、見ものだろう。だけど、周りの植物が圧倒されてしまうかもしれない。「それはその時のことだ」と勝手に考えている。



### 3年連続で沖縄国際洋蘭博覧会を見る 1

2014 年 02 月 08 日

毎年、この時期、海洋博公園の熱帯ドリームセンターで開かれている。今年で 28 回目だそうだ。私たち



は、3年連続で見に来た。2月5日が結婚記念日なので、そのお祝いと言うことで、来ている。

連続できても、まだ飽きない。変化があるし、それだけ圧倒的な素晴らしさがあるからだ。一昨年も昨年もブログで紹介したが、今年も紹介しよう。

左上 入り口アーチだ。

右上 ドリームセンターへのアプローチ周辺には、大量の花が飾られている。

中左 会場の中に入ると、ランのトンネルがある。昨年とは異なるディスプレイで、今年も美しい。

中右 一輪一輪が美しい



ミルクブッシュ ジャスミンマツリカ ク

ロトン タイワンレンギョウ ハイビスカ

ス 我が家の樹木9

2014年02月05日

今回は、元気良く成長中で、現在、高さ2~3メートルの玄関脇の木々だ。

右 ミルクブッシュは、来訪客にいただいたもので、高さ3メートルに近づいている。今は、他の木々に隠されている感じだが、来年ごろから、人目につくだろう。と言うのは、一風変わった木だからだ。枝が伸びていくつものに分岐し、また分岐するという形で大きくなり、一見「棒細



工」のように見える。葉らしきものが見当たらないので、どれが葉か枝かは、よくわからない。

名前もわからなかったが、名称不明でブログ記事に書いたら、親切な方がコメントで教えて下さった。枝が折れると、ミルクのような樹液が出てくるので、ミルクブッシュというそう。



左 ジャスミンマツリカは、ウチナーグチではムイクワだ。ジャスミンティー、つまりサンピン

チャの香りは、この花で付けるのだ。

大変清楚な印象を与える花だ。現在、玄関のシーサー脇で大きく育ってきている。玄関の欄干に添わせていくつもりだ。他に三カ所ほど植え付けている。

右 クロトンは、沖縄を代表するといっているほど普及している。我が家でもいくつも植えている。挿し木で簡単に殖える。苗を買ってきた記憶はない。写真は一番大きいもので、現在、高さ3メートルに近づきつつある。







左 タイワンレンギョウは、紫色のとても美しい花を咲かせる。簡単に殖えるので、あちこちに植えている。

別名、デュランタ・レペンスで観葉植物でもある。ハーブのウェブサイトにも出てきたので、驚いた。

下 ハイビスカスは、6種類ぐらい育てているが、なかでも写真のものが、フウリンブツソウゲと並んで、我が家の人気

物で、あちこちに植えている。これまた容易に殖やせる。花が二段のように見えるのが特徴だ。







オオバナアリアケカズ  
ラ ミフクラギ フウ  
リンブツソウゲ マッ  
サンゲアナ 我が家の

樹木 8 2014 年 02 月 02 日



左上 写真、左からオオバナアリアケカズラ、ミフクラギ、フウリンブツソウゲ、マッサンゲアナ。

以下は、根元の写真

今回は、玄関アプローチの橋の脇に大きく育っている 4 種の紹介だ。そのうち三つは花が美しいが、現在は花の季節ではない。



右上 まず、オオバナアリアケカズラ（アマランダ）は、すごい生命力が周りを圧倒する。2 年前までは、玄関アプローチにアーチを作ってその上を這わせ、花のトンネルを作っていたが、台風でアーチが壊れた。1 1 月に大胆な剪定をしたので、現在はその「雄姿」を見られないが、5 月から 1 1 月まで、溢れるばかりに黄色い花を咲かせる。高さは、4 メートルで止めている。

左 次は、フウリンブツソウゲ。これまた生育力旺盛で、3 月ころから 1 2 月までたくさんの赤い花を咲かせる。大胆な剪定を年に一回以上する。高さは、剪定で 4~5 メートルに止めている。将来もう少し高くするかもしれない。他に 3 本育てている。

下左 この二つに挟まれているが、最近、その中間からぐんぐん成長してきているのが、プルメリア。我が家のものは白い花だ。1 年に 1 メートルぐらい高くなり、現在 3 メートルなので、今年からは来訪者にも目立つところで開花するだろう。—— 追記 名前は間違いで、ミフクラギ



もう一つは、ユッカ・エレファンティペス。名前は、私の推理だが。現在高さ、4 メートル近く。一本だが、途中から 2 本が分岐して出てきている。スラッとしていて、美しい。千年木の仲間のような。年に 50 センチは伸びる。別の場所にも数本育てている。—— 追記 これまた間違いで、マッサンゲアナ







マニラヤシ ト

ックリヤシモド

キ サボテン

我が家の樹木 7

2014年01月29日

今回はヤシとサボテンだ。

左 ヤシの一番目は、マニラヤシ。葉が



老化すると自然に落ちてくるので、管理しやすいということがウリだ。現在高さ4メートル近くで、我が家の西側2階まで伸びてきた。1年に30センチのペースなので、あと10年すると、3階まで、もしかすると4階まで達するかもしれない。目通りは25センチ。

上右 トックリヤシモドキは、姿形が好きで、ぜひとも植えたいとかねがね思っていた。住み始めて1~2年で苗を店で発見し、我が家アプローチ脇に植えた。推定樹齢は、11年だ。当初は数十センチくらいだったのが、今では3メートルを超すようになった。美しい幹もしっかり見せてきたが、目通りを測定する高さ120センチまで幹を見せるには、あと5年ぐらいかかりそうだ。

下左 もう一本、ワシントンヤシを植えたが、虫にやられた。近隣の方から可愛いヤシの苗をいただいて、植えた。現在、高さ20センチほど。大きくなると、ヤシの種が確定できない。私の推理だと、アレカヤシだ。



下右 サボテンは、隣人と交換でいただいたものだ。成長が早くて、5年で高さ4メートルを越えたが、台風で折れた。現在回復してきて、再び4メートル近くに帰ってきた。玄関通路脇にあるので、毎日観察している。夏の間は、一日1センチほど伸びる勢いだが、冬は成長ストップだ。







クロキ センネンボ  
ク キバナタイワン  
レンギョウ 我が家  
の樹木 6

2014 年 01 月 26 日

今回は、3種を紹介しよう。

まずクロキ（クルチ、リュウキュウコクタン）だが、全部で14本ある。前所有者の方が植えたものがほとんどだ。樹齢は20年ほどだろう。私が、幼木を見つけて、移植した一本もある。他の木との距離が近すぎるので、間伐したものもある。



我が家の主木とでもいえよう。成長はゆったりしていて、高さでいうと、1年に20~30センチぐらいの成長だ。目通りは、一番太いもので、前回2009年9月測定の際、38センチのものが今回46センチ、前回33センチのものが今回39センチとなっている。3番目は、前回測定なしで、今回37センチだ。高さはいずれも4~5メートルだ。他のものも、高さは3~4メートルだ。

しっかりした木だが、3年ほど前の台風で途中で折

れた一本があるが、現在回復しつつある。高さを止めるような剪定はしないので、10年後には、6~7メートルのものが並ぶだろう。

センネンボク（千年木）は、隣地境界に挿し木で、10本余り植えた。だから、樹齢8~9年だ。強い台風で折れることがあるので、高さ4メートルほどが並んでいる。折れてもまた枝がどんどん出てくる。追加して挿し木したものを含めて20本近くから、数十本の枝がでてきているので、全体としてみると垣根風になりつつある。







キバナタイワンレンギョウは、目通りを始めて測定したが、48センチだ。高さは4メートルぐらいだ。植物に詳しい人から、こんなに大きくなっているのを初めて見たと言われた。ここに住み始めたころ、2階の中庭に私が



植えたのだが、3階玄関横に大きく広がっている。一本だけだが、大きいので存在感がある。全体像を撮影するのが困難なので、最後に、上から撮影した写真を加えた。





ライチ (レイシ) バンシルー (グア  
バ) びわ 我が家の樹木 5

2014 年 01 月 24 日

今回は果樹 3 種。

まずライチ (レイシ) 3 本。3 本とも敷地の前所有者の方が植えて置かれたもの。6, 7 年前から収穫で



きるようになったが、2011年の台風でひどい被害を受けた。

この木は、よく実をつけていたが、台風被害がひどく、主枝が傷んでしまった。だから、2009年9月の目通り87センチが、今回は63センチと小さくなってしまった。台風被害は風で枝が折れるだけでなく、潮風にやられることも大きい。この木は、風あたりが良すぎて、被害が大きい。

もう一本

は、被害はそれほどでもなく、前回33センチが50センチと着実に成長している。

写真はないが、もう一本は前回38センチが40センチでまあまあというところだ。

いずれも、今年の収穫に期待している。



左 バンシルー (グアバ) は、花野果村で購入した台湾バンシルーの苗を、最初は中庭に植えた。しかし、条件がよくないので、南端に植え替えた。その後順調に生育し、収穫し始めた。台風で枝が折れたが、それをものともせず奮闘している。目通りは35センチ。





びわは、苗店で購入した苗を植えた。順調に生育し、一昨年から収穫開始。とはいえ、鳥に食べられるものが多い。対策を試行錯誤中。高くなりすぎるのを抑えるため、剪定を行っている。目通りは、29センチ。

ビワの実がいくつもできてきている。2~3ヶ月後に収穫したいと思うが、鳥との取り合いになりそうだ。





## ブーゲンビリア サガリバナ ティートリー 我が家の樹木4 2014年01月20日

今回は、3種4本だ。

上左 まずブーゲンビリア。目通りは74センチ。2009年9月測定では、77センチで減ったが、剪定したためだろう。それにしても、どんどん成長する時期は終えて、安定期に入ったと言いきらうか。

写真では、10本余りが伸びているのが見えるが、これらが出てくるところに、太い幹が横たわっている。もともとタテだったのが、重みで横倒し状態になったのだろう。全体の高さは、10メートルを超す。

上中と右 次は、サガリバナ（サワフジ）で2本ある。1本は高さ5メートル近く、目通りは30センチ、もう一本は高さ3メートル余りで、目通りは28センチ。双方とも、2009年9月は、植えてまもなくで、目通りは測定していない。高さの割には、幹は太くない。でも一昨年の台風の際の被害は少ない。他の木々が近いためだろうか。

下左右 最後は、ティートリー。高さ5メートル近く、目通り35



センチ。2009年9月測定の目通りは47センチ。台風で、根元から30センチぐらいのところ折れてしまったためだ。その時は再起不能かと心配したが、復活してきた。写真がそのことを示している。





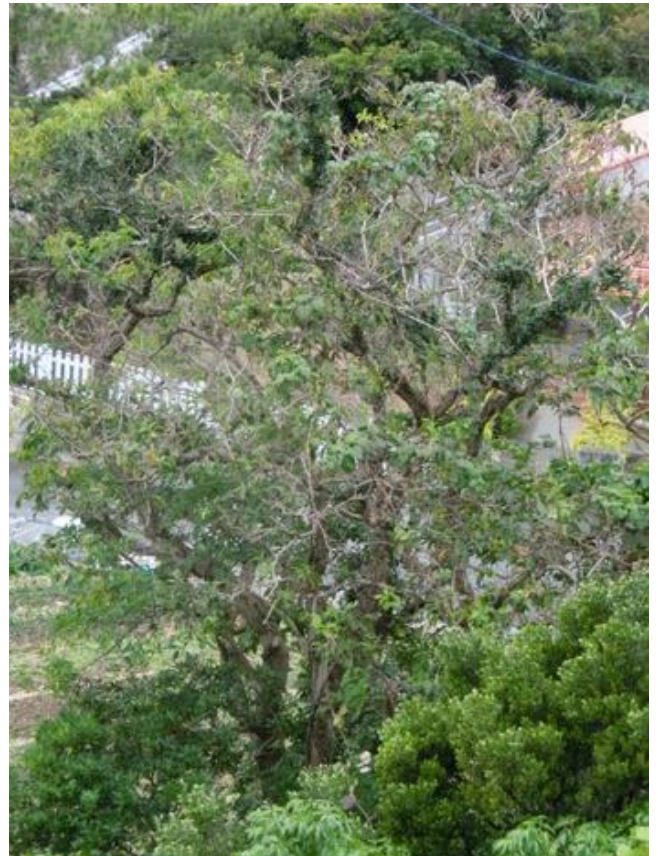
## ガジマル チシャノキ 我が家の樹木 3 2014 年 01 月 17 日

我が敷地の南東端のガジマル（左写真）、南西端のチシャノキ（右写真）が、高さでも幹の太さでも、現在のトップ 2 だ。

ここに引っ越した当時、ガジマルは高さ数センチの赤ちゃんだった。チシャノキは、すでに高さ 5 メートルを超えるものだった。

ガジマル 高さ 6~7 メートル 目通り 140 センチ（2009 年 9 月 101 センチ）

チシャノキ 高さ 8~9 メートル 目通り 126 センチ（2009 年 9 月 113 センチ）



ガジマルの生育スピードが速いので、目通りでチシャノキを追い抜いたが、いずれ高さでも追い抜くだろう。

いずれも、我が敷地を守る役割を果たしてくれているが、ますます立派になるだろう。悩みどころは、枝葉が他の植物に陰を作り過ぎるので、適度な剪定が必要なことだ。剪定で大量の枝葉が出て、堆肥になるまでに結構時間がかかるがやむを得ない。

それにしても、大きな木があるのは、気分的にいい。



## マンゴー 樹木2 2014年01月13日

我が家で、最も存在感のある木の一つが金煌マンゴーだ。2010年9月の目通り測定では、83センチだったが、今回測定すると、102センチになっていた。庭と畑の境界で、庭畑の中央にある。沢山の実をつけるが、ここ2年ほどは台風にやられた。収穫量を増やすためにも、収穫しやすさのためにも、高くなっ



た枝を剪定しているのので、高さを5メートルに止めている。放っておけば、すでに7メートルは超していただろう。



正月に、アーウィン種の苗を一本植えた。ごく普通にあるアップルマンゴーの実をつけるものだ。現在高さ30センチぐらいだ。





## 我が家の木々の成長 森へ 樹木シリーズ 1

2014 年 01 月 11 日

我が家の敷地は、隣地の多くが森状態であるのと同じように、もともと雑木林的な感じだった。その感じを生かして、私たちなりの森にしていこうと、これまでの 10 年を過ごしてきた。これからも、これまで以上のものにしていこうと思っている。雑木林にしては、果樹の比率が高いのが特徴だろう。また、もともとの地元の樹木が大半を占めるのも特徴だろう。

このブログでも、そんな木々のことをしばしば取り上げてきた。そして、2013 年 1 月に「動植物シリーズ 2 我が家の樹木・草・花・観葉植物」、2013 年 6 月に「動植物シリーズ 6 我が庭畑の果樹」として、編集し、ホームページ「浅野誠・浅野恵美子の世界」に収録した。これらに、ほとんどの木々を収めたので、今後 2~3 年は、その作業はないだろう。

そこで、今一度、新たな樹木シリーズを掲載していこうと思う。現在 50 種近くあるものを順に紹介していくので、何回の連載になるかは予測がつかない。また、植えていたが、ダメになったりした数本があるが、それらについても紹介するかもしれない。

最初のうちは、中高木類を紹介しよう。低木との境目を、現在高さ 4 メートル以上あるかどうかで区分してみた。4 メートルを超すと幹もしっかりしてくる。推定で 5 メートルを超えるのは、チシャノキ、ブーゲンビリア、ガジマルの 3 本だ。今後毎年一本ぐらいずつ 5 メートルを越えていきそうな気配だ。近々越えそうなのは、テイートゥリー、サガリバナ=さわふじ 2 本、クロキ数本だ。マンゴーとライチについては、収穫



などもあって、5 メートルを超す前に剪定して高さを抑えている。

2010 年 9 月に、幹の太さを示す「目通り」というものを、ビッグ 10 に絞って測定して、ブログに掲載した。みどりの風 <http://www.e-ueki.net/tree.php> というサイトに、次のように書かれている。

「樹木の幹まわりの太さを、人間の目の高さで計ったサイズです。地面 (GL) より 1.2m の幹まわりのサイズを目通りと言います。

株立ちとは、1 本の木で、根元から複数の幹が生えている樹形のものを指します。

「H」・「W」は上記単木と同じ測定ですが「C」に関して幹が数本ありますので GL より 1.2m の幹まわりの合計の 70% を「C」とします。例:①20cm ②35cm ③15cm だった場合 (20+35+15) × 70% とし、49cm になります。」とある。

これをもとに、その時に測った結果のビッグ 10 を紹介しよう。

チシャノキ	113	ガジマル	101
マンゴー	83	ライチA	87
ライチB	38	ライチC	33
ブーゲンビリア	77	テイートゥリー	47
クロキA	38	クロキB	33

これらがその後どうなっているか、にも焦点をあてながら、大きな木についての紹介から始めていこうと思う。





## 私流自然農とコンポストで堆肥づくり 2014年01月07日

今回は、庭畑の話。いろいろと自然農法、有機農法などの本を読んだ。結果的に、いろいろと参考にはしたが、私流の農法に落ち着いた。

その一つは、自然循環を重視し、敷地内に出る枝葉などは、すべて堆肥化している。台所ゴミは、当然のことだ。市の補助金（ほぼ半額）で、コンポストを総計4つ購入した。まず、大きな容器で乾燥させる。それをコンポストに入れる。底には、小枝類を入れて、通風を確保している。それ以外に、少量の土と市販の堆肥を加えている。

現在4つのコンポストを使用しているが、20日に一つの周期で満杯になる。そこで、コンポスト処理が終了したものを多少かき混ぜたあと、古ダンボールで覆って、熟するのを待つ。堆肥になるには、半年以上必要だ。

処理に手間取るのは、剪定した枝のなかで太いものだ。できるだけ細かく切って、堆肥になるのを待つ



が、10年20年かかりそうなものさえある。気長にいくしかない。1年前に作った新らせん型ハーブガーデンは、台風で出た大量の枝葉を積み上げて作ったものだ。1年たち、少しずつ沈み込み、堆肥化が進行しているようだ。

こんな風にして9年余り、コンポストを順に移動させている。現在はおおよそ2~3周目だ。もともとクチャ層で有機質が数センチしかなかったのが、現在10~20センチになり、ミミズもたくさん生活するようになった。でも、畑の栄養分はまだまだ不足だ。あと5年ぐらいすれば、畑らしくなりそうだ。

不足分は、市販の堆肥で補充している。

殺虫剤は、当然まいていない。しかし、庭畑に散在させているハーブや月桃などが、虫よけ効果を発揮するようになってきていると思う。一番の難題は、鳥よけだ。最近、ぶら下げてキラキラするものをいくつか置いているが、さらなる工夫が必要なようだ。

## ナスタチウム セントジョンズワート ムスク

マロウ 2014年01月05日

まずナスタチウム（金蓮花）。春になると、ところどころの公園で咲いているのを見かける。繁殖力旺盛なので、花の量に圧倒されたりする。他府県では2~3月に植えるようだが、沖縄では秋には植えられる。

長年植えてきたが、去年はこぼれ種からも出ず、苗店で種も見つからず、ついに注文で種を取り寄せた。昨年咲いたものが、10月ごろからこぼれ種で出てきた。現在10本ほど生育

し始めた。あと1ヶ月もしないうちに開花すると期待している。

この葉・花は食べられる。ちょっとピリっとして美味しい。

左 セントジョンズワートは毎年育ててきて、多年草化しているつもりだったが、今年はお出でこないので、苗を買わなくてはならないなあ、と思っていた矢先、年始に再び生育し始めているのを発見。嬉しかった。それでも一本しか出ていないので、4日に苗店で苗を一本購入して植えた。

下 ムスクマロウは、年末に苗店で見つけて、初めて植える。初体験なので、どんな風に生育するのだろうか、楽しみだ。

連載でいくつ紹介しただろうか。ハーブの本では、アロエの仲間などもハーブとして載っている。現在3種を育てている。という具合で、総計すると、60近いだろうか。過去に育ててみて失敗したものもあわせると、総計100種ぐらいになるだろうか。

我が庭畑に合うものはどんなものか、一応のコツがつかめてきたので、これから精選していくことになるだろう。クールミントのように大量処分が必要なほど繁殖しているものがある。植える場所も制限がある。縮小作戦を立てなくてはならないと思う。

育てることよりも、活用方法についての工夫がより重要になる段階かもしれない。





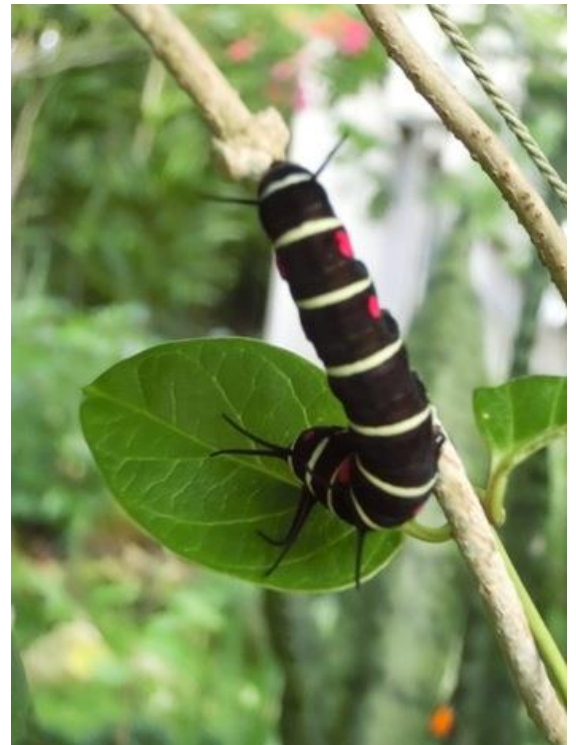
## オオゴマダラ幼虫 10 匹近くが元気よく、ホウライカガミを食べる

2014 年 01 月 04 日

今年の庭畑のお年玉。

我が庭畑のホウライカガミにオオゴマダラ幼虫がいるのを年末に発見。幼虫が育つのは今回で3回目だが、こんなに一挙に育つのは初めてだ。まもなくさなぎになりそうだ。1月末には、オオゴマダラの乱舞が見られるのを期待したい。

他にもう一つお年玉。昨年1月久米島でいただいたドングリを植え、6月ごろ定植したが、そのうち一本が育ち高さ30センチを超すに至った。それが新芽を出したのを、正月に発見。



## 日差しを防ぐ植物作戦 千年木 ブーゲンビリア シッサスなど 2014 年 01 月 03 日

我が家は、南南西向きの建物配置であり、3~10月という長期にわたって、部屋の中に差し込む夕陽を防ぐことが大きなテーマとなる。斜めに差し込む夕方だけでなく、上から差し込む真昼間でもかなりの遮蔽が必要だ。

まぶしさを遮るだけでなく、冷房経費対策、光線による機器・家具の劣化対策などと、いろいろと必要だ。

いろいろな試行錯誤を経て、植物による作戦に絞られてきた。そして9年余りたって、6~7割の遮蔽に成功しつつある。

1) 3階ベランダの西側に、鉢植え千年木を置く。現在、1~3.5メートルの高さのものが50本ほど並ぶ。難点は、風速40メートル以上だと、倒れたり折れたりする確率が数%以上となることだ。左写真

2) 同様のことは、4階でもしているが、現在進行中。

3) 地上に植えたブーゲンビリアをどんどん上に伸ばして、現在高さ10メートルを超し、先端は4階平面に達しようとしている。ここ3年間ほど、台風などの影響もあり、上に伸びることが止まっている。あと1~2メートル伸びるとありがたいが。そうすれば、3階4階の千年木・シッサス、さらには屋上のドラゴンフルーツとつながりあい、完成となる。

4) 地上から伸びたシッサスが、ぐんぐん伸びて、ブーゲンビリアを超す勢いだ。知らぬうちに4階ベランダの鉢からも、芽が出てきて広がり始めている。中写真

5) シッサスの枝に絡みつく形で、3階ベランダ鉢からのジャスミン・マツリカ、地上からのアサヒカズラ、さらにはパッションフルーツも成長している。右写真

6) これらの植物の花には蝶とミツバチが群がる。さらに、メジロ・スズメ・いそひよどり・ハトなどの鳥も加わる。我が家の風情を作りだしている。

植物なので、手入れには相当の時間と労力がかかる。ブーゲンビリアの落ちた花びらの清掃だけでも一仕事だ。植物たちを支えるロープなどの設定には、かなりの工夫が必要となった。剪定、これが一番の仕事だ。

でも、これらの仕事は結構楽しい。





## スペアミント パイナップルミント ボ

リジ チェリーセージ 2014 年 01 月 02 日

正月そうそうから、我が庭のハーブ紹介です。

まずスペアミント。9年前、ハーブ栽培を開始した当初からのもので、随分活用してきたが、最近、クールミントに圧倒されて、大変苦戦している。周りのクールミントをすべて取り除いて、生育環境をよくした。復活を期待している。



中左は、パイナップルミント。以前にも植えたが、失敗した、昨年春に新らせん型ハーブガーデンを作った



当初に、新しい苗を植え付けた。まあまあ生育しているが、旺盛というほどではない。もう少し工夫が必要かもしれない。同じミントでも、生育には多様さがある。

中右は、10日余りに植え付けたもの。まずボリジ。2年前にも植えて、きれいなブルーの花を楽しみ、サラダにも添えてみた。



左は、チェリーセージ。以前にも植えてみたが、うまくは行かなかったもので、再挑戦だ。セージには、我が庭に風土に合って、大繁盛のものと、そうではないものとの違いは大きい。チェリーセージは、通常のセージ類とは随分趣が異なるようだ。

追記 結局、これも失敗。2年後にやっと成功した。